

■ 訂正

医学と薬学 79 巻 10 号 廣津伸夫・他 著 1382 ページに誤りがございましたので下記のとおり訂正いたします。ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

● 79 巻 10 号 1382 ページ 左段 6 行目

(誤)

2. 感染研法と本システムの測定結果の相関成績

本システムの測定で、鼻咽頭ぬぐい液 52 検体、唾液 44 検体が陽性となり、それぞれの感染研法を対照とした陽性一致率、陰性一致率、全体一致率を表 2 に示す。鼻腔ぬぐい液の感度は 98.1%、唾液は 81.5% となり、唾液の感度は鼻咽頭ぬぐい液に対し、有意に低い結果となった。(フィッシャーの正確確立検定、 $p < 0.05$) 特異度については、両検体種ともに 100% であった。

(訂正箇所＝)

(正)

2. 感染研法と本システムの測定結果の相関成績

本システムの測定で、鼻咽頭ぬぐい液 52 検体、唾液 44 検体が陽性となり、それぞれの感染研法を対照とした陽性一致率、陰性一致率、全体一致率を表 2 に示す。鼻咽頭ぬぐい液の感度は 98.1%、唾液は 81.5% となり、唾液の感度は鼻咽頭ぬぐい液に対し、有意に低い結果となった。(フィッシャーの正確確立検定、 $p < 0.05$) 特異度については、両検体種ともに 100% であった。

(訂正箇所＝)